

完了報告書（平成 22 年度）

提出者 柳原 剛司

提出年月日 2010 年 4 月 21 日

**【プロジェクト名】**

和文 経済システム変容下におけるハンガリーの社会保障制度と資本主義の多様性

英文 Social security system in Hungary under transformation and 'Varieties of Capitalism'

**【メンバー構成】**

研究代表者 柳原剛司

幹事

メンバー 柳原剛司

**【ねらいと目的】** (600 字程度)

本研究では、過去 20 年間に於いて社会主義経済システムの崩壊から市場経済システムの構築を経験、さらには欧州の経済統合への接近・参加を達成したハンガリーにおける、年金制度を中心とする社会政策・社会保障の諸制度の変容とそれらの制度のもとで生活する人々の経済生活の変化とを分析し、制度改革をより包括的に捉え、その性質・課題を明らかにすることを目的とした。

近年、ハンガリーなど中東欧諸国は「資本主義の多様性」論において、「寛大な社会保障を維持して社会的・政治的安定を得て、新自由主義的な市場経済の導入をはかった」資本主義国であると論じられている。メンバーは、かつて年金制度に関連する基本的な指標からこの議論についての実証的分析を行ったが、本研究では、社会政策・社会保障制度をより包括的に視野にいれ、現地でのインタビュー調査、家計調査・労働力調査等の統計を利用しつつ、より詳細な分析を行う計画であった。その結果、社会政策・社会保障制度がハンガリーの経済システムにおいて果たしている役割および、その課題などを明らかにすることを目的としていた。

**【活動の記録】**

研究会・ワークショップの場合は、開催年月日、報告者と報告題等

調査の場合は、調査年月日、調査者、調査地、調査目的等

その他の活動も含めて、研究期間中の活動について簡潔に記してください。

2010 年 7 月 27 日-9 月 27 日 ハンガリー現地調査

高齢者の所得保障状況の調査のため、年金生活者へのインタビュー、研究者・官庁政策担当者への聞き取り調査など実施（調査者：柳原剛司、調査地：ブダペスト）

2010 年 10 月 16 日 学会報告 柳原剛司「ハンガリーの年金制度改革と高齢者の所得保障問題」

比較経済体制学会第 9 回秋期大会、上智大学

2011 年 1 月 柳原剛司「書評：盛田常夫著『ポスト社会主義の政治経済学』」『比較経済研究』

第 48 号第 1 号、比較経済体制学会、67-70 ページ

2011 年 2 月 22 日 成果報告会 柳原剛司「ハンガリーの年金制度改革と高齢者の所得保障問題」

2011 年 3 月 柳原剛司「翻訳：サニ・ミクローシュ他著「ハンガリーにおける産業クラスターの発生と発展」」『比較経済体制研究』第 17 号、比較経済体制研究会、32-58 ページ

**【成果の概要】** (800 字程度)

本研究プロジェクトの実施にあたって、2010 年夏に 2 か月間、「京都エラスムス計画：持続的発展に向けた次世代アジア共同研究リーダー育成」プログラム（大航海プログラム）を利用し、ハンガリー科学アカデミー経済学研究所へ滞在し、資料収集や派遣研究機関内外のハンガリーの社会保障・経済学研究者、国家人材省の社会保障政策担当者などとの意見交換を実施した。これらは、同テーマの研究の基盤となるとともに、人脈形成や問題意識の深化につながった。また、2010 年 8 月末には、関連する社会保障制度改革への言及も含む、ハンガリー政治経済の変化をテーマとする書籍の書評（活動の記録参照）を脱稿した。同書評は 2011 年 1 月に学会誌『比較経済研究』に掲載された。

これらの意見交換の結果・ならびに入手した家計調査のデータを活用しつつ、とくに高齢者の所得保障の状況と近年の年金制度改革の関係に着目して研究に着手し、その中間報告の形で、予定通り 10 月中旬に比較経済体制学会の秋期大会において学会報告を行った。まだ、分析の精緻化には時間が必要だが、準備的な研究の結論としては、一般的には「相対的にも保護された社会集団」である高齢者世代においても年金制度およびそのほか社会政策による支援が十分でない年齢・社会集団もあること、またそれを踏まえた場合の近年の年金制度改革が内包する、高齢者への適切な給付・所得保障を脅かす要素の存在・問題点などにつき明らかにした。

当初は、この学会報告での発表内容を研究論文に高め、学会誌等に投稿することを予定していたが、京都大学の総長裁量経費による博士論文の出版助成を受けることが 11 月に決まったため、まだ十分に深められた内容とはなっていないが、同著書の中に収録することを優先して加筆修正を行った。同著書は 2011 年 6 月頃に出版される見込みとなった。

**【通信欄】**

(研究代表者記入)

プロジェクト	<input type="checkbox"/> 次世代	<input checked="" type="checkbox"/> 次世代ユニット	<input type="checkbox"/> 男女共同参画に資する調査研究
経費	予算額	150 (千円)	実績額 149,638 円